

令和3年度 部局経営方針

部局名	上下水道局	部局長名	松尾 昇一	令和3年度中に策定予定の計画 (根拠法令等)	
部局の経営資源	職員数 (人)	当初予算額 (千円)		日向市水道事業経営戦略(中間見直し) 日向市権現原浄水場更新基本計画 日向市下水道ストックマネジメント第3期計画 日向市下水道耐水化計画	
	正職員	26 人	一般会計		861,963
			特別会計		2,600
	再任用職員	2 人	水道事業会計		2,002,925
			簡易水道事業会計		193,675
			下水道事業会計		2,596,523
			農業集落排水事業会計		329,781
			前年度繰越額(千円)		
	会計年度任用職員	3 人	一般会計		0
			特別会計		0
			水道事業会計		141,903
			簡易水道事業会計		82,038
任期付職員	1 人	下水道事業会計	184,208		
		農業集落排水事業会計	0		
総合計画に基づく部局の経営戦略	【基本姿勢】				
	『自然を守り、安全・安心な環境で心豊かに笑顔で暮らせるまち』を目指します。				
	【総合計画・基本理念】				
	衛生的で快適な生活環境の中で『市民が心豊かに笑顔で暮らせるまち』を目指し、「強靱」・「安全」・「持続」の3つの柱に基づく各施策を推進します。				
	【総合計画・基本目標】				
	4-6 安全で安定した水の供給				
	○ 安全で良質な水の安定供給に努めます。				
	○ 水道事業経営の健全化に努めます。				
	4-7 生活排水の適切な処理				
	○ 公共下水道事業を推進します。				
○ 農業集落排水事業を推進します。					
○ 合併処理浄化槽の普及と適正管理を図ります。					

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【上下水道局】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	施策の内容	所管課	予算事業名	当初予算 (千円)	予算額のうち 該当事業費 (千円)	現状と課題	R3取組内容	R3上半期	R3下半期
1	4 自然豊かで快適な強いまちづくり	1 助け合う災害に強いまちづくりプロジェクト	3 国土強靱化の推進	4 上下水道施設の耐震化や老朽化した施設の更新に取り組みます。	水道課	水道事業	2,002,925	870,112	老朽化した施設の更新や激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策に関して取組の更なる加速化・深化を図る必要があります。	老朽管路更新や耐震化及び施設・設備類の長寿命化対策並びに、権現原浄水場更新基本計画を策定します。	老朽管路更新工事及び施設・設備長寿命化対策工事の発注を行います。	権現原浄水場更新基本計画の策定を行います。
2					下水道課	下水道事業	472,552	437,000	下水道の整備、施設の長寿命化を図る必要があります。	往還地区の下水道の整備並びに施設の長寿命化対策工事を行います。	下水道布設工事及び浄化センターの長寿命化対策工事の発注を行います。	下水道布設工事について完成し、一部供用を開始します。
3				水道課	水道事業	2,002,925	0	配水池やポンプ施設は非常用電源が整備されておらず、停電が長期化すると断水となることから、大規模停電災害に備え非常用発電機を整備する必要があります。	配水池・ポンプ施設非常用発電機整備計画を策定します。	令和2年度に実施した基礎調査に基づき、現地調査の実施や影響規模に応じた整備の優先順位を決定します。	令和4年度からの事業実施向け概算工事費の算定や年次計画を策定し、計画書の取りまとめをおこないます。	
4				下水道課	浸水被害軽減対策事業	1,104	1,010	浸水被害の軽減を図るための対策を行う必要があります。	台風やゲリラ豪雨等により、浸水被害が想定される場合に、早急に排水ポンプを設置し、被害の軽減を図ります。	年間を通じ、台風やゲリラ豪雨時に備えます。	年間を通じ、台風やゲリラ豪雨時に備えます。	

様式1-3 その他に取組む重点事業

【上下水道局】

番号	基本目標名称	施策名称	具体的な施策名称	所管課	予算事業名	R3当初予算(千円)	予算額のうち 該当事業費 (千円)	現状と課題	R3取組内容	R3上半期	R3下半期	
1	4 生活環境	2 防災体制の充実	① 災害予防対策の推進	下水道課	浸水被害軽減対策事業	1,104	1,010	浸水被害の軽減を図るための対策を行う必要があります。	台風やゲリラ豪雨等により、浸水被害が想定される場合に、早急に排水ポンプを設置し、被害の軽減を図ります。	年間を通じ、台風やゲリラ豪雨時に備えます。	年間を通じ、台風やゲリラ豪雨時に備えます。	
2		6 安全で安定した水の供給	① 安全で良質な水の安定供給	水道課	水道事業	2,002,925	2,002,925	水道は、市民の暮らしに欠かすことのできない重要なライフラインであるため、大規模災害発生時においても必要な水道水が供給できる体制を維持し、また、今後発生が予想される南海トラフ巨大地震に備え、水道施設の更新や耐震化に取り組む必要があります。	水道水の安全性を一層高め、安心しておいしく飲める水道水を安定的に供給するため、「日南市水安全計画」に基づく適正な水質管理を実施します。 また、「日南市水道ビジョン」に基づき施設の計画的な維持管理、更新や耐震化を推進する事で強靱な水道施設の構築を目指します。	1. 「日南市水安全計画」のレビュー(確認・改善)を行います。 2. 上水道施設の一斉合同点検を実施します。 3. 配水量の常時監視の実施や重要給水管路等の漏水調査を実施します。	1. 「日南市水道ビジョン」に基づき災害対応訓練を実施します。 2. 権現原浄水場の施設劣化調査、耐震診断及び設備機器類老朽度調査結果に基づき「権現原浄水場改築更新基本計画」を策定します。	
3				水道課	簡易水道事業	193,675	193,675	簡易水道事業は小規模な施設が点在し、水道事業としての経営効率が低く施設の老朽化も進行しています。そのため、施設長寿命化のための適切な点検や更新の実施、適正規模の施設再配置の検討等により施設運営の効率化を図る必要があります。	施設の維持管理及び水質検査を適切に行うことにより、施設老朽化による事故を未然に防止し、清浄な飲料水を安定的に供給します。	1. 簡易水道施設の一斉合同点検を実施します。 2. 配水量の常時監視の実施や重要給水管路等の漏水調査を実施します。	1. 「日南市水道ビジョン」に基づき災害対応訓練を実施します。	
4				② 水道事業経営の効率化	水道課	水道事業	2,002,925	2,002,925	給水人口の減少等により給水収益が減少する一方で、耐震化の推進や施設老朽化による更新需要の増大が予想されるため、一層の経営健全化が求められています。	令和3年度は窓口業務民間委託1期目(3年間)の最終年度であるため、2期目(5年間)へ向けて業務範囲拡大についての検討を実施し、公募型プロポーザル方式により受託業者の選定を行います。	1. 業務委託仕様書や審査要領等を作成し、公募型プロポーザルを実施します。	1. プロポーザル審査により受託業者を選定し、2期目の業務開始に向けた準備を行います。
5		7 生活排水の適切な処理	① 公共下水道事業の推進	下水道課	下水道事業	472,552	437,000	下水道の整備、施設の長寿命化を図る必要があります。	往還地区の下水道の整備並びに施設の長寿命化対策工事を行います。	下水道布設工事及び浄化センターの長寿命化対策工事の発注を行います。	下水道布設工事について完成し、一部供用を開始します。	

様式1-3 その他に取組む重点事業

【上下水道局】

番号	基本目標名称	施策名称	具体的な施策名称	所管課	予算事業名	R3当初予算 (千円)	予算額のうち 該当事業費 (千円)	現状と課題	R3取組内容	R3上半期	R3下半期
6	4 生活環境	7 生活排水の適切な処理	② 農業集落排水事業の推進	下水道課	農業集落排水事業	31,430	30,000	農業集落排水施設が老朽化しているため、長寿命化を図る必要があります。	施設の長寿命化対策工事を行います。	最適整備構想に基づく、長寿命化対策工事の発注を行います。	最適整備構想に基づく長寿命化対策工事を完成させます。
7			③ 合併処理浄化槽の普及と適正管理	下水道課	生活排水対策(浄化槽設置整備事業)	8,325	8,184	単独浄化槽やくみ取りから合併浄化槽への転換推進を図ることが課題となっています。	令和2年度から5カ年計画により、浄化槽補助金交付を継続します。	HPや広報誌等で事業の周知を図り、合併浄化槽へのすみやかな転換を促進します。	HPや広報誌等で事業の周知を図り、合併浄化槽へのすみやかな転換を促進します。

様式1-4 行財政改革大綱に基づく行動計画

【上下水道局】

番号	基本方針	取組項目	実施項目	部局	所管課	R3取組内容	R3上半期	R3下半期
1	市民に信頼される行政サービスの提供	広報・広聴活動の充実	市政の情報発信の充実	上下水道局	水道課	水道事業への市民の理解を深めるため、積極的な情報発信を行います。	「上下水道かわら版」を発行します。	HPで決算状況の情報発信をします。
2			市政の情報発信の充実	上下水道局	下水道課	市ホームページ、市広報紙にお知らせ・啓発等の情報を掲載します。	浄化槽補助金、下水道の日について、市ホームページ等で周知を行います。	浄化槽月間に合わせて、市広報紙に記事を掲載します。
3		職員の育成	災害に対する職員対応能力の強化	上下水道局	水道課	大規模災害発生時においても必要な水道水が供給できる体制を構築します。	—	応急給水訓練を実施します。
4		市民に開かれた市役所づくり	電子行政サービスの充実	上下水道局	水道課	使用開始中止の届出の電子化を検討します。	メールでの水道使用開始・閉栓届について検討します。	—
5		情報公開と個人情報の保護	情報公開制度と個人情報保護制度の適正な運用	上下水道局	水道課	個人情報取扱に関する理解を深めます。	—	個人情報に関する研修会へ参加します。
6	効果的・効率的な行政経営の推進	行政運営の効率化の推進	民間活力の活用	上下水道局	水道課	窓口業務民間委託の1期目最終年度となります。委託2期目(5年間)に向け、更なる経営の効率化を図るため業務範囲を拡大します。	スケジュール、仕様書、審査要領等を作成し、公募します。	プロポーザル審査により業者を選定し、契約締結を行い2期目の業務開始に向けて準備をします。
7			ICTの利活用	上下水道局	下水道課	下水道管路台帳システムの整備活用に努めます。	調査内容等の情報更新を行いつつ、有効活用を図ります。	調査内容等の情報更新を行いつつ、有効活用を図ります。

様式1-4 行財政改革大綱に基づく行動計画

【上下水道局】

番号	基本方針	取組項目	実施項目	部局	所管課	R3取組内容	R3上半期	R3下半期
8	効果的・効率的な行政経営の推進	行政運営の効率化の推進	職員の働き方改革	上下水道局	水道課	「年間5日間以上の年休取得」に取り組みます。	—	年休取得状況を把握し、計画的な年休取得を促します。
9			職員の働き方改革	上下水道局	下水道課	「年間5日間以上の年休取得」に取り組みます。	—	年休取得状況を把握し、計画的な年休取得を促します。
10	未来につなげる財政運営	適正な財政運営	公営企業等の経営健全化	上下水道局	水道課	独立採算制の根幹となる給水収益の見通し等について検討します。	経営分析結果を踏まえ、料金改定等の検討により収支バランスの見直しを行います。	収支バランスの見直しに基づき、今後の起債借入れ方針を決定します。
11			公営企業等の経営健全化	上下水道局	下水道課	下水道・農集排の使用料改定に向けた調査研究に着手します。	先進自治体への調査ヒアリングを行います。	使用料改定に向けた調査手法・スケジュールについて検討します。
12		自主財源の確保	債権管理の推進	上下水道局	水道課	民間のノウハウを活かした収納率向上への取り組みを強化します。	閉栓未納者に催告書の送付や電話及び訪問を実施します。	—
13			債権管理の推進	上下水道局	下水道課	下水道事業受益者負担金の収納率向上に努めます。	滞納管理を適切に行います。	滞納管理を適切に行います。